ふなばしメディカルタウン構想（骨子案）　イメージ図

■まちづくりコンセプト

- 自然との調和を図りながら、医療センターを移転しまちの中核にする
- 子育て世代や高齢者をはじめ市民が元気に暮らし続けられるよう、健康を意識できるまちにする
- 訪れた人が楽しみながら健康になれるまちにする

健康創造都市ふなばし

～ 進化し続けるまち ～

健康につながる 都市環境
環境を大切にするまち

健康な 身体
身体を動かしたくなるまち

健康な 心
人がふれあうまち

自然との調和
自然にふれあうことは、心と身体に安らぎを与えます。
都市と自然が共存したまちにします。

- 憩いの水辺空間
- 走って楽しい空間
- 海老川ジョギングロードとの連続性
- 海老川調節池上部利用との一体的なまちづくり
- 多目的広場

公共交通利用環境の向上
外出することは、歩くことや人との交流を生み出します。
公共交通の利便性を高めることにより、より外出したくなるまちにします。

- 東葉高速線の新駅

歩行空間の形成
歩くことは最も基本的な運動です。
車中心のまちづくりではなく、歩行や自転車の移動が中心のまちにします。

- 歩いて楽しい空間

コミュニティ活動の活性化
人との交流や社会参加が生活を豊かにし、心と身体に良い影響を与えます。
交流やつながりが生まれるまちにします。

- 大学と連携したまちづくり・学びの場

医療の充実
高度医療の充実を図り、質の高い医療を提供できるまちにします。

- 医療センターの移転
  - 内科診療科の充実
  - ICU・SCU※①の充実
  - 精神科身体合併症病床※③の検討
  - 周産期医療※②の検討
- 人材の育成
  - 医療系専門学校の誘致検討
  - 介護系専門学校の誘致検討
- 新たな研究
  - 医療系研究機関の誘致検討
  - 医療系大学の誘致検討
- リハビリテーション病院との連携

健康意識の高揚
健康への「気づき」が健康への第一歩です。
健康情報を蓄積し、新たな健康活動を提案・発信することにより、健康意識が高まるまちにします。

- 健康的なライフスタイルの発信
  - 予防医学型フィットネスジム
  - オーガニックヘルシーレストラン（地産地消、市場との連携）
  - 都市型ウェルネスツーリズム
- 健康ポイント制度
- 予防医学※④的な健康情報の提供
  - ヘルスチェック
  - 健康相談
  - ITを活用した健康情報の共有化

※① SCU：脳卒中のための集中治療室
※② 周産期医療：妊娠後期から出産直後の母と子に対する医療
※③ 精神科身体合併症病床：重い病気や怪我と精神疾患を合わせ持つ救急患者等を対象とする病床
※④ 予防医学：生活習慣や環境を整えて病気の発生を未然に防ぐ医学。健康寿命の延伸に資する身体や心の健康維持・増進も含む。

※本骨子案で表している代表的な施策は目標であり、現時点で確定したものではありません。